



電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)
ニューズレター (2013年度 No.1)
<http://www.hcg-ieice.org/archives/newsletters/>



～ 目次 ～

- ◆2013年度運営委員長からのご挨拶
- ◆FIT2013 (第12回情報科学技術フォーラム) 開催のご案内
- ◆HCGシンポジウム2013への投稿のご案内
- ◆研究会活動報告 (HPD研究会)

2013年度運営委員長からのご挨拶

～科学技術を利用して、人々の生活を幸せで豊かなものにする～

HCG運営委員長
黒岩真吾 (千葉大)

電子情報通信学会には、「基礎・境界」「通信」「エレクトロニクス」「情報・システム」の4つの工学を指向したソサイエティがあります。工学の目的は『科学技術を利用して、人々の生活を幸せで豊かなものにする』ことにあります。しかし、「科学技術」と「人々の生活」の間には工学者に思いもよらない山谷が存在しています。そのため、科学技術の人々の生活に役立てていくためには、多くの分野の方の知恵を結集し、山にはトンネルを、谷には橋を架けていく必要があります。そのために約20年前に生まれたグループが「ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)」です。学会のHPを見ると5番目のソサイエティのように描かれています。実際には、4つのソサイエティを横断し、かつ、心理学、社会学、医学、看護学、家政学など様々な分野からのメンバーが『人々の生活を幸せで豊かなものにする』ために集い語り合う場としてHCGは存在しています。

私の専門とする工学分野では、技術の新規性を求めがちです。しかし、人々の生活に焦点をあてた場合、必ずしも新技術が必要なわけではありません。技術はあるのに誰もやらない、困っている人がいるのに誰もそれを問題として取り上げない、有効性を実験で示しにくい研究はしない…などなど、誰かがやらなくてはいけないことが数多く見過ごされているように感じます。私自身、技術者として、新規性に囚われ研究を続けてきた一人なのですが、目から鱗が落ちる講演に出会いました。2011年のTED-TALK, Mick Ebelingの“The invention that un-locked a locked-in artist”という7分のプレゼンです。筋萎縮性側索硬化症 (ALS) で眼球しか動かせなくなったアーティスト (TEMPT) のために、映像プロデューサーが人々の力を集め、眼球運動のみで壁に絵や文字を描ける装置eyeWriter†1をゲーム機のカメラやその辺のパーツ店で買って来た部品で作上げた話です。そのプレゼンを見て涙がこぼれました (私のしがたい文章力では到底伝えきれないので、是非TEDのサイト†2で動画を見てください)。この装置はオープンソースで公開されています。そして、TEMPTは2011年4月にLAの現代美術館のストリートアート展に出品を果たします。眼球以外動かすことができないにもかかわらず…。Mickのプレゼンは、こう締めくくられます。

If not now, then when?
If not me, then who?
そこに困っている人たちがいる。彼らを援助できる技術があり、それをできる自分がある。新規性がない、論文にならない…そんなことはやらない理由にはならないと、改めて感じさせられました。

私は、HCGが『人々の生活を幸せで豊かなものにする』ための集まりであって欲しいと考えています。幸い HCGの研究会やシンポジウムには、電子情報通信学会の会員だけでなく、心理学、社会学、医学、看護学、家政学、教育の現場や介護の現場等、様々な分野から、研究者だけでなく日々人と接するお仕事をされている方々にもご参加いただき、様々な視点から人間を中心に据えた技術に関する白熱した議論を行っていただいております。電子情報通信学会の会員の方には、是非とも HCGの集いに参加され、これらの議論に加わっていただくとともに、皆さんの所属するソサイエティに持ち帰っていただき、『人間中心』の視点から改めてご自身の電子情報通信技術を考えていただきたく思います。そして、『今そこで困っている人のために、何かできることはないか?』との問いかけを、まずは自分に、そして周りの人々に投げかけ、幸せのムーブメントを起こしていただければ、何よりも嬉しく思います。

なお、電子情報通信学会会員の皆様は、こちらのページ†3 から書類をダウンロードいただき、HCGにチェックを入れて電子情報通信学会会員課に送っていただければ、追加料金なしで HCGにご参加いただけます。また、下記の各研究会や今年度、道後温泉で開催いたします HCGシンポジウム (3つ目の記事を参照) には、非会員の方も自由に参加いただけますので、是非ご参加いただければと思います。

- †1 : <http://www.eyewriter.org/>
- †2 : http://www.ted.com/talks/mick_ebeling_the_invention_that_unlocked_a_locked_in_artist.html
- †3 : <http://www.ieice.org/jpn/service/societyyoshi.html>

FIT2013 (第12回情報科学技術フォーラム) 開催のご案内

HCG企画幹事
大塚真吾 (神奈川工科大)

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ、電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、および、情報処理学会が共催している、FIT2013 (第12回情報科学技術フォーラム) の開催をお知らせいたします。

今年度は鳥取市にある鳥取大学において開催されます。
会 場 : 鳥取大学 鳥取キャンパス
会 期 : 2013年 9月 4日 (水) ~ 6日 (金)

最新情報につきましては下記をご覧ください。
<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/>

例年と同様に FIT2013においても、査読付き論文と一般論文の応募を受け、査読付き論文から採択された論文を対象に、船井ベストペーパー賞と FIT論文賞が選定され、FIT2013会場にて表彰が行われます。また、査読付き論文・一般論文を問わず、FIT2013当日の座長および聴講者からの投票結果をもとに選定されるヤングリサーチ賞がありますので、参加者の積極的な聴講と投票をお願いいたします。さらに、今年度からの新たな試みとして、一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を1件(該当なしもあり)表彰する FIT奨励賞が設けられましたので、例年以上に質の高い発表が行われることが期待されます。

情報技術分野における顕著な業績に対して贈られる FIT2013船井業績賞は、一般財団法人Rubyアソシエーション理事長の中「まつもと ゆきひろ」様の受賞が決定しており、9月5日に行われる表彰式に続いて「Rubyが成し遂げたこと」と題した記念講演が行われます。この講演は USTREAMによるライブ配信を予定しておりますので、ご参加頂けない方でも講演を楽しむことができます。

その他、以下のような多数のイベントが企画されておりますので、FIT2013に是非ご参加ください。

【9月4日(水)】

- ・国際情勢の変化から見るサイバー攻撃
～その本質を探る～
- ・人文科学における時空間情報の活用
- ・第2回統一的评价基準に基づく電子透かしコンテスト
～チャレンジングな評価基準を超えられるか!～
- ・ビッグデータ時代のオンライン学習アルゴリズム
- ・身近になったライフログ
- ・受賞者フォーラム:
メディア認識・理解の最前線と若手へのメッセージ

【9月5日(木)】

- ・ICTにおける産業界が望むヒューマンリソース
～ICTの将来を担うキャリアを究める～
- ・ビッグデータ時代到来!
～ウェブ最先端企業が最新動向を語る～
- ・ソーシャルメディアの分析
～経済物理学、数理モデルの観点から～

【9月6日(金)】

- ・環境問題とサイバーワールド
～身近な問題にどうやって取り組むか～
- ・学びを科学する:
MOOCsでCloudなBig DataをLearning Analytics!
- ・映像符号化の最新動向
～HEVC標準化～
- ・基礎理論が導く最先端技術:
計算限界解明への取り組みと超高速アルゴリズム開発

HCGシンポジウム2013への投稿のご案内

HCGシンポジウム運営委員会副委員長 (HCG企画幹事)
大塚真吾 (神奈川工科大)

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーションングループ(HCG)として、毎年12月の恒例となりました HCGシンポジウムへの投稿のご案内です。2010年の宮崎シーガイア、2011年の高松市サンポートホール高松、2012年の熊本市くまもと森都心(しんとしん)プラザを経て、2013年は松山市総合コミュニティセンターにおいて開催されます。

会 場：松山市総合コミュニティセンター
(<http://www.cul-spo.or.jp/comcen/>)
会 期：2013年12月18日(水)～20日(金)

発表申込締切：2013年9月4日(水) 24:00 JST
発表原稿締切(予定)：2013年10月18日(金) 24:00 JST

副 題：「人々の生活を幸せで豊かにしていくICTとコミュニケーション」

招待講演1：伏木 亨先生(京都大学 農学研究科)
(12/18午後)に講演予定)

招待講演2：豊田正史先生(東京大学 生産技術研究所)
(12/19午後)に講演予定)

最新情報につきましては下記をご覧ください。

<http://2013.hcg-symposium.org/>

HCGシンポジウムは、ヒューマンコミュニケーションングループに属する1種・2種研究会はもとより、その他の分野とも研究交流を横断的かつ濃密に行うために、今回は全ての口頭発表者に対してインタラクティブ発表枠を付与することにいたしました。

- ・インタラクティブ発表では発表用パネルにポスタを貼って頂きます。
- ・電源を用意しますので、ノートPCを用いたデモ等を行うことができます。
- ・口頭発表者によるインタラクティブ発表は必須ではありませんが、できるだけコアタイムにはご参加ください。
- ・インタラクティブ発表のみの参加者も募集しております。萌芽的な研究や研究プロジェクトの紹介などにご活用ください。

また、今年からの新たな試みとして「オーガナイズドセッション」を行います。これは、ある特定のトピックに関する研究発表を1つのセッションに集め、活発に議論を行うセッションになります。今年には以下の3つのセッションを企画しております。その分野の専門家との議論を行うことができますので、積極的な投稿をお待ちしております。各オーガナイズドセッションの募集内容や投稿方法の詳細につきましては Webページをご覧ください。

オーガナイズドセッション 1 (開催日未定)

